

■福島県飯舘村の原発災害の現状

災害対策本部長（飯舘村長） 菅野典雄

(1) 今日の出来事

本日午前「松下忠洋 経済産業副大臣」、続いて「志位和夫 共産党委員長」、午後には「荒井広幸 新党改革幹事長」「亀岡偉民 代議士」「谷垣禎一 自民党総裁」が来村し、村長、村議と意見交換。国の直接的な支援体制を早急に構築することを強く要望した。

○国の把握している情報の出し方の改善、迅速に提供すること。

○放射性物質の調査結果のみならず、数字の持つ意味を平易に説明することや、具体的な対策にかかる情報提供すること

ー土壌に関わる調査体制の強化、その対策は特に急がれる。

○村の産業に対する補償（つなぎ的な一時補償含む）にかかる方針を早急にまとめ、提示して欲しい。

ー特に農作業の準備の時期であるが、県の指示に基づいて、農家の方々には作付け準備等の延期を依頼している状況にあり、一定の結論を急がりたい。

○危機管理のイロハをしっかりと踏まえ、無闇に避難エリア等を拡大しないこと。

ー時間を追うごとに、エリアが拡大されたことが住民の不安を煽る結果になった。

○仕事を作っていくことが、村民の安心を作り、村を残すことにつながる

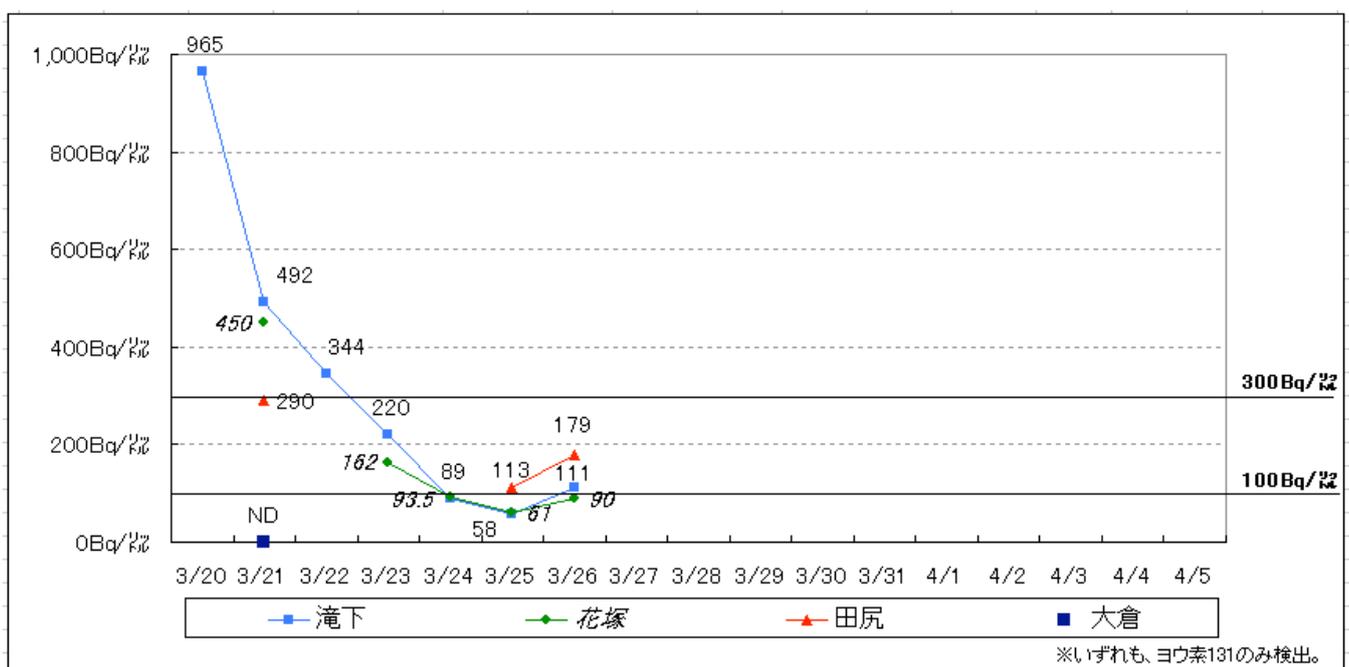
(2) 放射性物質の状況

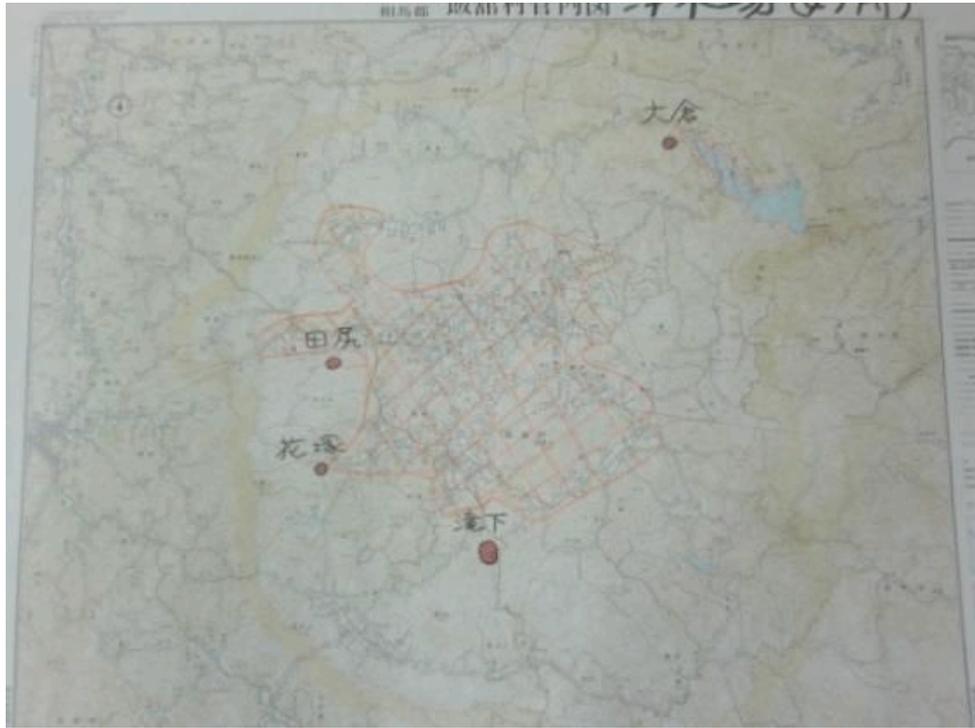
①大気【時系列データは最終ページ】

役場周辺モニタリングポスト（地上1m）： **8.78 μ Sv**（19:00 現在、晴れ）

②水道水【グラフ再整理しました！】

本日夕刻受信分では、速報性が高まっている。昨日の検査結果が、中一日で出てきている。さらに25日からは、3観測ポイントでの検査体制となっている。滝下（111 Bq/l）、花塚（90 Bq/l）、田尻（179 Bq/l）となっており、いずれも25日から26日で上昇に転じている。

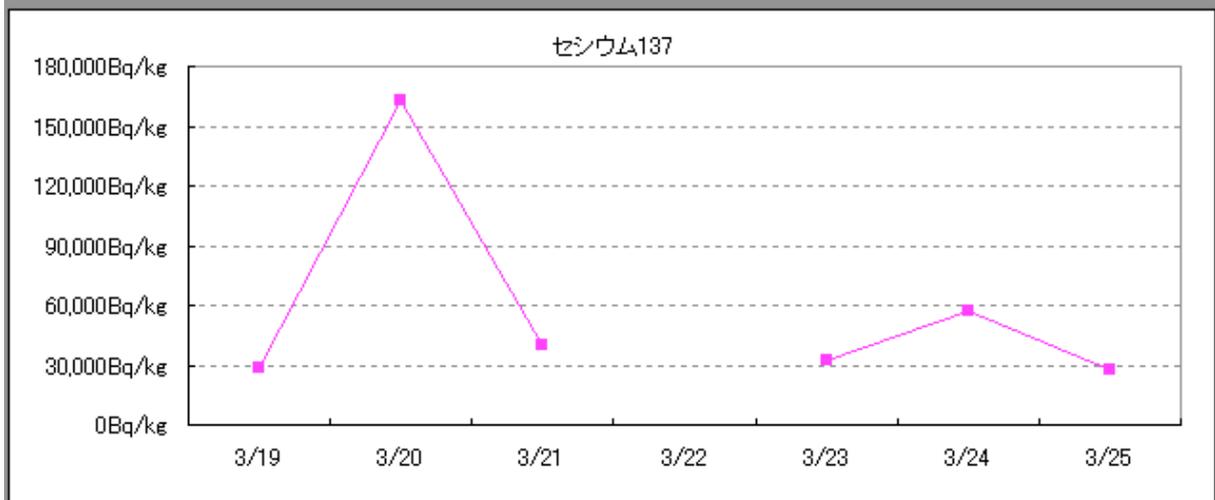
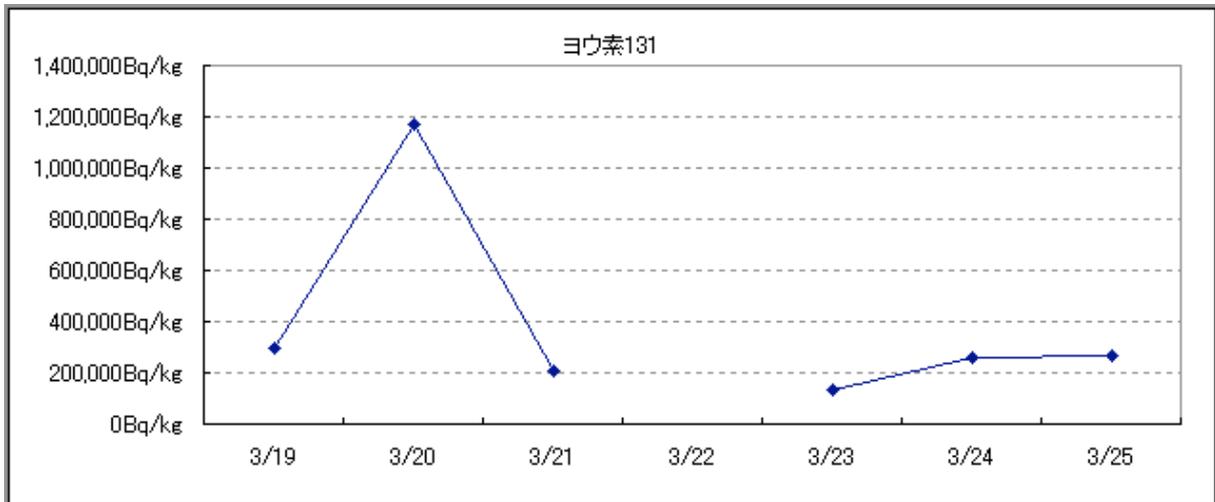




各浄水所と給水エリア

③土壌（文部科学省データ 10時発表分）

本日発表されたデータをもとにグラフを作成。報道にあった3月20日の値のみ、非常に高くなっている。引き続き、測点を増やして詳細な調査を実施予定。



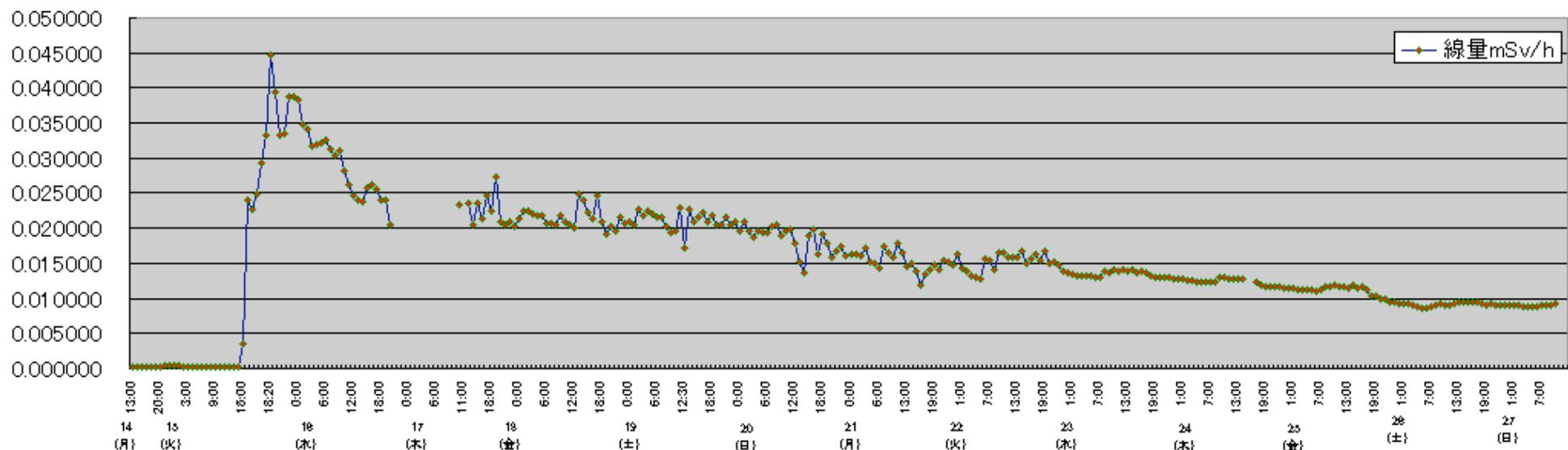
(3) 集団自主避難（鹿沼市総合体育館—フォレストアリーナ—避難所）の状況

3月20日の集団自主避難完了日がピーク（438人）であったが、漸減傾向にあり本日 17:00 現在 391人となっている。うち小・中・高校生が73人となっている。

【文中に掲載されている地名等】



ガンマ線量の時間計測【mSv/h】



ガンマ線量の時間計測(3/15 15:00~)【mSv/h】

